



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2022年9・10月号（602号）》

目 次

報 告

・臨時司教総会	1
・常任司教委員会	3
・社会司教委員会	6
・典礼委員会	7
・学校教育委員会	8
・難民移住移動者委員会	9
・カリタスジャパン	14
・正義と平和協議会	17
・日本キリスト教連合会	19
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク	21
・HIV/AIDS デスク	22
・中央協議会事務局（総務）	23
公文書	24

臨時司教総会

■2022年度第1回臨時司教総会

日 時 2022年7月19日(火)-21日(木)
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 会 員 17名
オブザーバー 3名
司教総会事務担当スタッフ 6名

報 告

1. 教皇庁の省庁名一部変更について
教皇フランシスコが長年準備していた教皇庁改革に関する使徒憲章(PRAEDICATE EVANGELIUM)が2022年3月19日に発表され、6月5日から施行となった。この使徒憲章により、教皇庁の省庁の名称に一部変更が生じたため、5月と6月の常任司教委員会で変更された省庁の新しい邦文名称を確定したことが報告された。
2. 新しい「ミサの式次第」司式者用儀式書について
新しい「ミサの式次第」は2022年の待降節第一主日(11月27日)から実施する準備が進められている。今まで書籍の名称を『ミサの式次第と奉献文』とすることを申し合わせていたが、正式名称として『ミサの式次第』とすることが報告された。
また、新しい「ミサの式次第」の旋律3種類(A 現行のミサの式次第の旋律(高田三郎氏作曲)を部分修正したもの、B 規範版に掲載されたグレゴリオ聖歌に基づいたもの、C 既存の旋律によらずに新しく作曲したもの)が整い、7月常任司教委員会で公表と使用について承認を得たことが報告された。
3. 国際カリタス「Together We キャンペーン」について
2021年12月13日に国際カリタスが「Together We キャンペーン」を開始した。これは、教皇フランシスコの呼びかけに応え、総合的エコロジーのもと「ケアの共同体」を構築し、「ケアの文化」を築いていく動きであるが、カリタスジャパンとしても、国際カリタスによる、1年目の「気づきの年」、2年目の「行動の年」、3年目の「ともに祝う年」、4年目の「振り返りの年」の計画に呼応する形で、教区担当者を通して、各教区でキャンペーンを展開し、多くの「ケアの共同体」を築いていくよう呼びかけていくことおよび、SDGsの取組みを行っているカトリック学校等との協働も検討していることが報告された。
4. 緊急対応支援チーム(ERST)細則について
カトリック中央協議会に常設された復興支援室のもとに置かれる緊急対応支援チーム(ERST)の組織や役割について規定するための「細則」が6月の常任司教委員会で承認されたことが報告された。

審 議

1. 第16回シノドスへの日本の教会からの提出文書について
各教区から提出された報告書に基づいて作成された第16回シノドスのための日本の教会としての回答案については、本司教総会での諸意見を加味して修正し、英文にして、教皇庁シノドス事務局に提出することを承認した。
2. ミサの公式祈願「試用版」の試用中断について
新しい「ミサの式次第」の実施を機に、典礼秘跡省から認証を受けるまでの間、現行の公式祈願(試用版)の試用を中断することを承認した。
3. 日本の教会としての環境問題に取り組むための事務局体制について
日本の教会として環境問題に取り組むためのデスクを、司教協議会のデスクとして社会福音化推進部に置き、新たに任命される担当司教を中心として、カトリック司教協議会内の関連部署、特に教皇庁での組織と同様に社会系諸委員会で連携を取りながら対応していくことを承認した。また、上記デスクの名称を「ラウダート・シ」デスクとし、司教協議会会長が任命した成井大介司教を同デスクの担当司教とすることを承認した。
4. 未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン運用促進部門の設置と職務分掌について
①「未成年者と弱い立場におかれている成人を保護するためのガイドライン」推進のために、司教協議会会長が責任者となり、修道会・宣教会との連携、神学校での養成、司祭生涯養成、教区間などの横断的なつながりを推進する組織として常任司教委員会内に「未成年者と弱い立場におか

れている成人の保護のためのガイドライン運用促進部門」を設置することを承認した。

- ②本司教総会に提案された同部門の職務分掌を承認し、司教協議会会長が任命したヨゼフ・アベイヤ司教を「未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン運用促進部門」の担当司教とすることを承認した。なお、上記の任命にともない、ヨゼフ・アベイヤ司教は「子どもと女性の権利擁護のデスク」の責任司教職を退任する。

5. 2023年度司教総会日程について

2023年度司教総会日程を以下のとおり確定した。

2023年度定例司教総会 2023年2月13日(月)－17日(金)

2023年度第1回臨時司教総会 2023年7月18日(火)－21日(金)

2023年度第2回臨時司教総会 2023年12月14日(木)

6. 2023年度教区分担金の負担額軽減について

COVID-19流行で各小教区での献金が集まらないことを考慮し、2021年度、2022年度に引き続き、2023年度の教区分担金も、財務委員長および常任司教委員会からの提案どおり50%減額することを承認した。

7. 森山信三新司教の司教協議会での役職について

- ①森山信三司教に、2022年7月20日より2025年度定例司教総会終了時まで、司教協議会会長が任命した以下の役職を依頼した。

難民移住移動者委員会担当司教

子どもと女性の権利擁護のためのデスク担当司教

- ②上記、森山信三司教の子どもと女性の権利擁護のためのデスク担当司教任命にあたり、同デスクの松浦悟郎司教は責任司教の役職となる。

8. カトリック中央協議会事務局長について

森山信三前事務局長が大分教区司教に任命されたことを受け、2022年4月の常任司教委員会で、新事務局長が確定するまでの暫定措置として、2022年4月7日付で、事務局長代行を川口 薫師に依頼していたが、同師を2022年7月21日からカトリック中央協議会事務局長として選任した。

9. カトリック中央協議会への派遣司祭について

カトリック中央協議会に2022年9月1日より長崎教区から派遣される尾高修一師の就任を承認した。

常任司教委員会

■7月定例常任司教委員会

日 時 2022年7月7日(木)10:00-15:00

場 所 マレラホール

出席者 委 員 7名

事務局 7名

報 告

1. 第16回シノドスのための教区回答への御礼とシノドスのあゆみの継続依頼について

6月4日を締め切りとしていた教区からの第16回シノドスへの回答が締切日までに全教区から提出されたことを受け、教区での意見収集とまとめの御礼とともに、今後もシノドスのあゆみを続けてほしいというメッセージを第16回シノドス準備担当の菊地功大司教から、司教、教区事務局長、教区シノドス担当者に送付し、中央協議会ウェブサイトにも掲載した。

2. 6月常任司教委員会で確定した教皇庁省庁名一部変更について

教皇庁改革に関する使徒憲章により改訂された教皇庁の各省庁名は、5月と6月の常任司教委員会で検討し、確定したが、教皇庁宣教事業関連の名称を統一して、「教皇庁信仰公布会」を「教皇庁信仰公布事業」に変更したことが報告された。

3. ウイリアム・グリム師帰国後の英文業務委託継続について

日本カトリック司教協議会およびカトリック中央協議会の英文に関するコンサルティング業務を委託しているウイリアム・グリム師が、メリノール会の総長からの任命により、2022年10月からカリフォルニアにあるメリノール会会員のための高齢者施設の所長となるため、日本を離れることが通知された。グリム師には米国においても継続して業務を依頼する。

4. 「特別在留許可嘆願」キャンペーン（仮題）について

日本カトリック司教協議会として取り組むことになっている「特別在留許可嘆願」キャンペーンの進捗状況について報告があった。Change.orgを使用してキャンペーン署名を行う予定。多言語でも趣意書を作成し、署名を願う。

5. ウクライナ支援に関する各教区の取り組みアンケートについて

社会司教委員会委員長から各教区事務局に依頼したウクライナ支援の取り組みについてのまとめが報告された。各教区の取り組みについて、今後、カトリック新聞を通して伝えていく。

審 議

1. 2022年度第1回臨時司教総会の内容確定について

本年7月19日（火）－22日（金）開催予定の臨時司教総会で取り扱う事項を確定した。詳細は2022年度第2回臨時司教総会報告参照。

2. 新しい「ミサの式次第」の旋律について

典礼委員会から提案された「ミサの式次第」の旋律について、常任司教委員会としては3種類の旋律を楽譜で公表する方針で、7月の司教総会に報告する。

3. 2022年平和旬間会長談話について

本常任司教委員会に提出された案文を2022年平和旬間に向けての日本カトリック司教協議会会長談話として2022年7月7日付で発表する。

4. 第16回シノドスのための日本の教会としての回答案について

本常任司教委員会で出された諸意見を加味して修正した第16回シノドスのための日本の教会としての回答案を2022年度第1回臨時司教総会に諮ることを承認した。

5. 「祖父母と高齢者のための世界祈願日」の祈りについて

本常任司教委員会の諸意見を加味して修正した2022年7月24日の「祖父母と高齢者のための世界祈願日」のための祈りの邦訳を承認した。

6. 2022年すべてのいのちを守るための月間の取り組みについて

2022年「すべてのいのちを守るための月間」に向けて、司教協議会会長談話を発表することを申し合わせた。

7. 緊急対応支援チーム（ERST）の諸経費と業務委託について

カトリック中央協議会に常設された復興支援室のもとに置かれる緊急対応支援チーム（ERST）の活動費および会合費用のための予算を2023年度より「災害対応支援室」の会計コードを設けて予算化すること、および本常任司教委員会に提出されたERST事務局との業務委託契約書を承認した。

8. JLMM 顧問司教継続承認について

日本カトリック司教協議会の公認団体であるJLMMの顧問司教として、2022年4月1日より2025年3月31日までの期間、さいたま教区・山野内倫昭司教が就任することを承認した。

9. 典礼に関する神の民の養成についての教皇使徒的書簡の取り扱いについて

典礼に関する神の民の養成についての教皇使徒的書簡“DESIDERIO DESIDERAVI”を翻訳し、カトリック中央協議会出版部から発行する方向で準備を進めることを承認した。

10. 中央協議会発行出版物の企画承認について

出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。

書籍名 カトリック新教会法典 第VI集 教会における刑罰的制裁（改訂版）〔羅和対訳〕

内 容 改定された教会法第VI集の邦訳出版

11. 2023年度教区分担金の負担額について

Covid-19感染が終息しない状況を受け、2023年度教区分担金について財務委員長の提案どおり、50%減額の案を7月の臨時司教総会に諮る。

12. 典礼聖歌を用いた動画配信のルールについて

中央協議会事務局から提出された典礼聖歌の動画配信への利用に関するルールを承認し、中央協議会ウェブサイトで公表する。

13. FABC 50周年総会参加司教一部変更について

2022年10月12日-30日に開催されるFABC50周年総会に梅村昌弘司教が参加できなくなったため、補欠候補者として選出されている成井大介司教に参加を依頼する。

■9月定例常任司教委員会

日 時 2022年9月1日(木)10:00-12:00

場 所 マレラホール

出席者 委 員 6名

事務局 8名

報 告

1. FABC50周年総会参加司教一部変更について

2022年10月12日-30日にタイのバンコクで開催されるFABC50周年総会への参加を予定していたウエイン・バートン司教が体調を考慮して参加を辞退したため、補欠候補司教から中村倫明大司教が参加することとなった。なお、中村大司教は教区行事のため、10月20日-30日の参加となる。

2. 駐日教皇庁大使館新参事官着任について

2022年8月25日に駐日教皇庁大使館のFabrice RIVET新参事官が着任したことが報告された。

審 議

1. 2025年の聖年に向けての連絡調整担当者選出について

教皇庁福音宣教省・世界宣教部門からの要請である2025年の聖年準備のための日本の教会の連絡調整担当を、川口薫事務局長に依頼した。

2. FABC50周年総会に参加する青年代表について

FABC50周年総会事務局からの依頼である、同総会への青年の参加については、具体的な参加日程を問い合わせた上で、日本からの参加者を送ることができない可能性も含め、司教協議会会長の菊地大司教と相談の上、確定する。

3. FABC 創立50周年のための祈りについて

本常任司教委員会に提出されたFABC 創立50周年のための祈りの邦訳を承認した。なお、本日承認された祈りを含め、FABC50周年総会に関する情報は中央協議会ウェブサイトの特設コーナーを設けて順次掲載する。

4. 「祖父母と高齢者の世界祈願日」の移動について

日本からの要請に応え、7月第4主日に祝う「祖父母と高齢者のための世界祈願日」を9月第3主日に移動しても問題はないとの教皇庁いのち・信徒・家庭省長官からの書簡を受け、日本の教会として2024年から同祈願日を移動することについて2022年12月の司教総会に諮る。

5. 2022年日韓司教交流会について

Covid-19の感染が未だ終息しないことを受け、2022年11月に予定されている日本での日韓司教交流

会を1年延期すること、準備している記念誌は予定どおり今年発行すること、11月15日に韓国司教とのZoomミーティングを行いたい意向を韓国司教協議会に伝える。

6. FABC50周年総会に対する寄付要請について

FABC50周年総会への寄付要請が届いたことを受け、同総会の援助要請総額を尋ねた上で、司教協議会会長の菊地大司教と相談の上、寄付を行う。

7. 2023年度司教協議会年間活動方針について

本常任司教委員会の諸意見に基づき修正した日本カトリック司教協議会2023年度活動方針を常任司教委員会として承認し、12月開催の臨時司教総会での報告事項とする。

8. 中央協議会発行出版物の企画承認について

出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。

書籍名 キリスト者の祈り—教皇講話集

内 容 教皇フランシスコの一般謁見連続講話のペトロ文庫による出版

9. カトリック中央協議会経理規程の一部改定について

2015年12月常任司教委員会で承認し、2019年に改定を行った「カトリック中央協議会経理規程」第5章「棚卸資産」第30条「棚卸資産の評価」の部分の改定を承認した。

10. カトリック中央協議会管理職人事について

2022年9月1日からのカトリック中央協議会管理職人事として、事務局長が策定した以下の提案を承認した。

尾高修一 出版部長 兼 法人事務部長 兼 法人事務課長 兼 情報システム課長

川口 薫 事務局長 兼 司教協議会事務部長 兼 新聞事業部長 兼 財務部長(法人事務部長、法人事務課長、情報システム課長の任を解く)

原田豊己 事務局次長 兼 社会福音化推進部長(出版部長の任を解く)

社会司教委員会

■定例会議

日 時 2022年7月20日(水)17:00-18:00

場 所 マレラホール(ハイブリッド)

出席者 14名

報 告

1. ウクライナ避難民受け入れの教区別対応状況の調査について
各教区からの受け入れ状況について取りまとめ、各教区に報告書として提出した。取りまとめの概要は、カトリック新聞に記事として掲載する。

審 議

1. 出版を予定しているハンセン病問題冊子について、司教総会で審議するための論点整理を行った。

■臨時会議

日 時 2022年7月22日(金)9:00-10:30

場 所 マレラホール

出席者 13名

審 議

1. 出版を予定しているハンセン病問題冊子について、司教総会での決定を受け、発行主体の変更（社会司教委員会→司教協議会）、最終案の再度作成から発行までの今後の流れなどを確認した。あわせて、冊子発行の趣旨について確認した。

■臨時会議

日 時 2022年8月30日(火)10:00-12:00

場 所 オンライン

出席者 11名

審 議

1. 出版を予定しているハンセン病問題冊子の新たな修正案を検討し、社会司教委員会としての意見を取りまとめた。意見は、常任司教委員会にて再度審議を願う。

次回定例委員会 12月 5日(月) 時間未定

典礼委員会

■定例会議

日 時 2022年9月5日(月)9:00-11:40

場 所 御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院(長野・北佐久郡)

出席者 9名

欠席者 2名

報 告

1. 『新しい「ミサの式次第」にかんする各教区説明会協力状況
本年の待降節第一主日(11月27日)より実施される新しい「ミサの式次第」の周知のために、昨秋より各教区等で説明会が行われている。それを受けて、講師として協力した委員からの報告および今後の予定等について情報交換を行った。
2. 司式者用儀式書『ミサの式次第』について
掲記儀式書は現在、印刷段階に入り、10月末に発行予定。巻末には補遺として『ゆるしの奉献文』が掲載されている。別冊として『種々の機会の奉献文』(試用版)も箱に入れて販売する(別売しない)。

審 議

1. 本委員会の今後の作業手順について
前回会合に引き続き、第二バチカン公会議後に公布された「ローマ・ミサ典礼書」以外の儀式書の改訂作業を進めるために優先事項を確認し、今後の準備方法等について検討を行った。
2. 2022年度全国典礼担当者会議について
今会合後に「新しい『ローマ・ミサ典礼書』の実施に向けて②」をテーマとして開催する掲記会議について、内容、進め方の最終確認を行った。

次回日程

定例会議 2022年11月21日(月)10:00-15:00 ウェブ会議

■2022年度全国典礼担当者会議

日 時 2022年9月5日(月)14:30-7日(水)12:00

場 所 御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院(長野・北佐久郡)

出席者 26名

テーマ 「新しい『ローマ・ミサ典礼書』の実施に向けて②」

内 容

本年は3年ぶりの対面による開催となったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、各教区1名の参加とした。本年の待降節第一主日より実施される新しい「ミサの式次第」の実施に向けて、諸課題への対応について共通認識を深めた。

9月5日

宮越委員が当委員会の活動報告を行った後、各教区担当者が事前に回答したアンケートをもとに①「新しいミサの式次第」の実施を準備するにあたっての周知の方法、②それを進める中で明らかになった課題等を報告し、情報交換が行われた。

9月6日

午前中は昨年より行われてきた各教区等での説明会で寄せられた主な質問・意見等の課題の紹介を受けて、当委員会委員による具体的な解説および質疑応答が行われた。

午後は典礼音楽担当部門委員の指導のもとに、ミサの式次第の旋律についての実習が行われた。旋律は3種類で、印刷物として発行する前に、楽譜と音源をカトリック中央協議会ウェブサイトで公表するとの予告が行われた。

9月7日

前日に引き続き、「説明会等での質疑にともなう確認事項」および、「各教区からのアンケート回答結果」からの課題に対する解説および質疑応答が行われた。最後に閉会のミサがささげられ、これまで日本語版『ミサ典礼書』改訂のために尽力された方々への感謝をもって、全日程を終了した。

次回全国典礼担当者会議(予定)

2023年9月4日(月)14:00-6日(水)12:00 御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院(長野・北佐久郡)

学校教育委員会

■第180回学校教育委員会

日 時 2022年8月1日(月)14:00-15:45

場 所 ウェブ会議

出席者 11名

欠席者 2名

報 告

1. 学校連合会

2022年度5月現在の加盟校・加盟園および2022年度の活動予定について報告が行われた。

審 議

1. 第34回「校長・理事長・総長管区長の集い（集い）」について

2022年4月28日—29日、都市センターホテル（東京・千代田区）で開催した第34回「集い」の会計報告を行い、意見交換を行った。

2. 第35回「集い」について

来年度も2023年4月28日—29日の日程で「集い」を開催することを確認し、意見交換を行った。

3. 学校教育委員会の活動について

今後の活動について意見交換を行った。

4. 教皇庁教育省指針「対話の文化のためのカトリック学校のアイデンティティ」（仮題）の監修について

教皇庁教育省指針「対話の文化のためのカトリック学校のアイデンティティ」（仮題）の翻訳監修について意見交換を行った。仮邦訳が届いた段階で、監修担当者を検討する。

5. 新しいミサ式次第の実施について

2022年11月27日（待降節第1主日）から実施される新しいミサの式次第について意見交換を行った。

難民移住移動者委員会

■第4回全国担当者・ネットワーク情報交換会

日 時 2022年6月2日（木）14:00-15:00

場 所 ウェブ会議

出席者 11名

各地での言語別共同体の状況、支援活動状況や課題を分かち合う場として、2020年1月より定期的にオンライン開催されている。教会シェルターで受け入れている一人ひとりへの対応、アフガニスタン退避支援の課題、ミャンマー人へ就労制限のない1年の在留資格が出されるようになった緊急避難措置について、円安の影響で実質の仕送りが増え生活に困窮する状況など共有と意見交換が行われた。コロナ禍で三密を避けるために、各国コミュニティが大切にしている行事やお祝い、弁護士等との支援者会議など、教会施設が様々な役割を果たす機会が増えていることが報告された。

■第6回事務局会議

日 時 2022年6月2日（木）15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 7名

報 告

1. 委員長メッセージ「包括的で公正な難民保護制度の確立を」について

2. 人身取引に取り組む部会（タリタクム日本）からの報告

3. 船員司牧部門（ステラマリス）からの報告
4. 外キ協、難キ連からの報告

審 議

1. ベトナム人司牧者の集い（7月11日）の方向性を確認し、詳細について審議した。
2. 日本で生活するアフガニスタン避難民へのカトリック教会の支援について、今後の方向性を討議した。
3. 仮放免者生活支援2件について審議し、一件は支援の申請が承認され、もう一件は詳細を確認後に審議することとなった。難民移住移動者委員会への献金の意向を生かすためにも、今後は援助の申請を出すよう積極的に働きかける。
4. 「中期計画の振り返りと今後への分かち合いのまとめ」が確認され、10月の担当者会議の議題するために準備を進めることになった。

■第3回 船員司牧部会（ステラマリス日本）コア会議

日 時 2022年6月30日(木)14:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 7名

報 告

1. 各教区・港の報告、情報共有として、訪船時の船員たちの状況や希望（カトリック信者の船員たちから、朝の祈りや晩の祈りのプリントが欲しい等）などが分かち合われた。
2. 船員の日での発送報告のほか、委員会の動きとして、新型コロナ・ベトナム人技能実習生ホットライン、人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告、情報共有が行われた。

審 議

1. 7月18日（月・祝）船員司牧（ステラマリス）全国研修会の流れと担当分担の最終確認を行った。
2. 8月30日（火）～31日（水）拡大コア会議参加メンバー検討、プログラムおよびスケジュールを決定した。
3. コア会議で承認された議事録最終版について、ステラマリスの国内ネットワークと共有していくことが決定された。

■第5回全国担当者・ネットワーク情報交換会

日 時 2022年7月7日(木)14:00-15:00

場 所 ウェブ会議

出席者 12名

各地での言語別共同体の状況、支援活動状況や課題を分かち合う場として、2020年1月より定期的にオンライン開催されている。各地で様々な国籍、ニーズの外国人への司牧や支援が取り組まれている。外国につながる人が事故にあたり病気で急死したりした時、地域にネットワークがあるとすぐに司祭に連絡が入り駆けつけることができる。教会内外のネットワークに平時からつながることの大切さが分かち合われた。感染症対策としての入国制限がなくなり、仕事を始めて職場での暴力等の相談が増えている現状がある。各地のアフガニスタン避難民の状況と支援の動きについて情報共有があった。

■第7回事務局会議

日 時 2022年7月7日(木)15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 8名

報 告

1. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
2. 船員司牧部会（ステラマリス）報告
3. 出前研修（札幌教区、名古屋教区）報告および進捗状況
4. なんみんフォーラム（FRJ）、外キ協、難キ連からの報告
5. 法務大臣宛て司教団要請書、賛同キャンペーンへの協力と準備について

審 議

1. 1. 世界難民移住移動者の日委員会メッセージの内容を審議し、メッセージ案を作成した。各委員に送って一週間後に最終決定する。
2. 7月11日のベトナム人司牧者のつどいに向けて準備の打ち合わせを行った。
3. 援助金審査により、仮放免者支援1件が承認された。
4. イエズス会のマリア・メディカルサポート基金と連携することが承認された。
5. 10月4日～5日の担当者ネットワーク合同会議の開催方法、プログラムの方向性が確認された

■2022年度ベトナム人司牧者のつどい

日 時 2022年月7月11日(月)10:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 36名

テーマ 在日ベトナム人の司牧：コロナ禍から学んだこと、これからの展望

- 10:00 開会 山野内司教挨拶と祈り 趣旨説明 午前の部進行：グエン・タン・ニャー師
- 10:30 少人数のグループ分かち合い
- 13:30 午前の分かち合い報告および意見交換 進行：ブー・カイン・トゥオン師
- 15:15 新型コロナ・ベトナム人技能実習生ホットライン報告ほか 山岸素子委員
- 15:30 今後に向けて意見交換、教区を超えた協力、あり方に向けて 進行：レ・ティ・ラン修道女
- 16:30 閉会 まとめ 連絡事項 祈りと司教祝福

■2022年度船員司牧（ステラマリス）全国研修会

日 時 2022年月7月18日(月・祝)13:00-17:00

場 所 ウェブ会議

参加者 約63名

ステラマリスって何？ ～私たちの生活を支えている船員たちを支えよう～

- 13:00 開会 総合司会：濱田壮久師
山野内倫昭司教挨拶、主旨説明、ステラマリスコアメンバーの紹介

- 13 : 15 ステラマリスの祈り
- 13 : 20 船員司牧について、神学的、聖書的な背景 (濱田師)
質疑応答 (進行：山野聖嗣師)
- 14 : 00 船をめぐる現状を知る
- 1) 船の種類について (岩井美咲さん)
 - 2) 船員たちの船の上での仕事、船員の家族たち
導入の説明 (濱田師)
船員の家族としての思い 大元麻美さんのお話映像
- 15 : 10 わたしたちの日常を支えるために、物流が滞らないように
木野内勝己さん (カトリック港南教会)
- 15 : 40 帽子を編む、カードを作るなどのさまざまな船員司牧活動
- 1) 船員さんに帽子を送る会紹介映像
 - 2) 船員たちにプレゼントを渡したとき (井手公平師、山野聖嗣師)
- 16 : 10 わかちあい ブレイクアウトセッション
- 16 : 45 山野内司教のお話 まとめ 祝福

■タリタクム日本・2022年人身取引反対世界デー祈りの集い

日 時 2022年7月30日(土)18:30-19:00

テーマ「The Power of Care～すべての人の正義と尊厳のために、行動する決意を新たに」

プログラム

導入と祈り

ベトナムからの声 ティック・タム・チーさん (在日ベトナム仏教信者会会長、大恩寺住職)

若者の声 タリタクム日本ユースアンバサダー

メッセージと祈り 山野内倫昭司教 (J-CaRM 委員長)

今年の祈りの集いは、例年通り英語の同時通訳付きでオンラインで開催された。大恩寺を訪れて作成したインタビュー動画と、若者たち自身による動画を交えて、約 300 人の参加者が人身取引反対の意向のもとに共に祈りをささげた。

■第 8 回事務局会議

日 時 2022年8月25日(木)14:00-16:00

場 所 ウェブ会議

出席者 9名

報 告

1. 人身取引問題に取り組む部会 (タリタクム日本) 報告
2. 船員司牧部会 (ステラマリス日本) 報告
3. 「世界難民移住移動者の日」に関する報告
4. 教皇庁難民移住者部門オンライン会議 (8/5) と FABC ウェビナー (8/18) の報告
5. アドボカシー、啓発プロジェクト関連

審 議

1. 森山担当司教を迎えた新体制は、今後、山野内委員長との話し合いによって決められることになった。

2. 法務大臣宛司教団要請書、賛同キャンペーンへの対応が検討された。
3. 担当者ネットワーク合同会議（10/4～5）への準備として、中期行動計画の振り返りの結果を図にまとめることになった。
4. ベトナム人司牧チームへの対応については、今後、事務局会議で継続審議される。
5. 仮放免者の医療と生活支援については、今後、継続審議される。

■第3回定例委員会

日 時 2022年8月30日(火)13:00-16:00
場 所 ウェブ会議
出席者 18名

報 告

1. 森山担当司教を迎えた新体制について
2. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
3. 船員司牧部会（ステラマリス日本）報告
4. ベトナム人司牧者のつどい（7/11）について
5. 世界難民移住移動者の日に関する報告
6. 外キ協、難キ連からの報告
7. 各地からの報告

審 議

1. 担当者・ネットワーク合同会議（10/4～5）は原則、対面で行い、場合によってはハイブリット開催とする。プログラムと詳細が討議された。
2. 法務大臣宛司教団要請書賛同キャンペーンと、入管法改定案に対する取り組みについて審議が行われた。

■第4回 船員司牧部会（ステラマリス日本）拡大コア会議

日 時 2022年8月30日(火)17:00-31日(水)15:00
場 所 ウェブ会議
出席者 14名

8月30日(火)

講 話

横浜のポートメディカルサービス 森下さんのお話

（船員さんの緊急事態 ～船での病気、死亡～ の際の港でのサポート）

教会の祈り 晩の祈り

8月31日(水)

コア会議再開

審 議

参加者自己紹介、それぞれの活動について

全国研修会の振り返り（1時間半めど）

ステラマリスUKの訪船記録アプリについて

次回 11 月のコア会議の外部講師選定について

翻訳・パンフ・出版物企画について 取り組む時期や担当チーム体制の協議

- ・船員司牧手引き（教皇庁文書翻訳）
- ・スタッフ向けパンフ（船員訪問時活動リスト等）
- ・一般向けパンフ・小冊子等の検討

ステラマリスのミサ

カリタスジャパン

■第 4 回 援助審査会議

日 時 2022 年 7 月 1 日(金)13:30-15:30

場 所 ウェブ会議

出席者 6 名

欠席者 2 名

報 告

1. ウクライナ支援について（募金額・支援額）

3 月から 6 月 24 日までの、募金額総額は 154,512,622 円。ウクライナとその周辺国への支援総額は 70,648,000 円。

審 議

1. 海外から援助申請について

海外からの一般援助申請案件 2 件について審議し、ともに承認の方向で援助部会に付託する。

2. 国内からの援助申請について

国内からの一般援助申請案件 2 件について審議し、1 件を承認の方向で、もう一件を一部承認の方向で援助部会に付託する。

3. その他

- ・国内に滞在しているウクライナ難民を支援している団体について、援助申請の可能性について問い合わせがあった。
- ・援助団体の報告義務について確認し、未提出団体への督促、報告書のチェックを行い、援助部会に報告する

次回援助審査会 9 月 9 日（金）13:30-15:30 ウェブ会議

■第 4 回 啓発部会会議

日 時 2022 年 7 月 27 日(水)13:30-15:30

場 所 ウェブ会議

出席者 11 名

報 告

1. 事務局報告

2. 21 世紀キリスト教社会福祉実践会議代表者会議

3. 日本キリスト教社会福祉学会第62回大会

審 議

1. 国際カリタスキャンペーン「Together We」について

1) 進捗状況について

6月実施の3教会管区会議、事務局による周知準備、臨時司教総会でのキャンペーンキックオフより進捗状況を確認した。具体的には、キャンペーン紹介動画 (<https://youtu.be/u6Qah-aGG7g>) 公開、We are Caritas 25号の配布による周知、教区キャンペーンチーム立上げなどの状況、司教総会における提案(DVD作成)などを確認した。また、カトリック学校との協働として、中学高等学校長宛に、キャンペーン協力・賛同依頼し、学校職員との意見交換会を行うことなどを共有した。

2) 「気づきの年(2022年)」の取り組みについて

現在、教区等で取組んでいる活動を本キャンペーンに結びつけ、活性化のために役立てる。

3) 「すべてのいのちを守るための月間(9/1-10/4)」の取り組み

月間中に、回勅『ラウダート・シ』『兄弟の皆さん』の中から共感した文章等を日々の言葉として掲載し、心を新たにするための資料を作成する。

4) 動画(第2弾)制作について

キャンペーン周知用の次の動画(第2弾)について意見交換を行った。次回会議で「行動の年(2023)」の取り組みの検討を始めることを確認し、次年度活動として予算を含め継続して審議する。

2. その他

次回日程：第5回2022年09月21日(水)13:30-15:30ウェブ会議

■第5回 事務局会議

日 時 2022年8月1日(月)13:30-15:30

場 所 ウェブ会議

出席者 7名

欠席者 1名

報 告

1. 事務局報告

カリタスジャパン実施の会議・行事、派遣社員の派遣終了、各団体からの依頼事項、出前研修依頼等の報告を行った。

2. その他

- ・ウクライナと周辺国の支援状況に関する更新情報を作成し、中央協議会館内に掲示した。
- ・中東北アフリカ地域会議に出席した職員から会議出張報告があった。

審 議

1. カリタスジャパン委員会・部会合同会議について

8月18日実施予定のカリタスジャパン委員会・部会合同会議の議案を決定した。

2. 国内援助方針について

カリタスジャパンの援助方針の見直しに関し、今後の具体的な進め方について確認した。

3. 国際キャンペーンについて

キャンペーンの取り組みに関し、7月の臨時司教総会でのキャンペーンアピール、教区担当者会の管区別ミーティング、カトリック学校との意見交換等、進捗状況を確認した。

4. 中期戦略計画ワークショップについて
11月に開催予定の中期計画ワークショップについて、参加者の申込状況や実施目的について確認した。
5. 国際カリタス管理基準（CIMS）について
前回のCIMSアセスメントの結果と評価を確認し、問題分析を行い評価からの改善点について確認した。
各改善点について、連絡会で確認しながら、関係各部署と協力し改善作業を進める。
6. その他
 - ・カリタスアジアの会議の日程変更（11月7-10日）に従い、総会とパートナー会議への参加者を確認した。
 - ・キルギスへの視察は、現在のコロナの状況を鑑み、今回は中止とする。

次回日程：10月7日（金）15：00-17：00 予定

■第4回 カリタスジャパン委員会・部会合同会議

日 時 2022年8月18日（木）13:30-15:30

場 所 ウェブ会議

参加者 18名

報 告

1. 事務局活動報告
2. 各部会報告
3. キャンペーン進捗報告
 - 1) 司教総会：7月19、20日の司教総会にて協力を得られた。
 - 2) 教区担当者会：周知動画はウェブサイト等に公開済。月に1回、賛同書を各教区へ送付予定。
 - 3) 学校関係：
 - ①7月下旬、カトリック中学、高等学校長宛にご案内（賛同書、意見交換会案内等）を送付した。
 - ②8月に2回、カトリック学校教職員による意見交換会を開催した。
 - ③8月8、9日宗教倫理担当者ネットワークのワークショップにて周知の協力を得た。
 - 4) 「すべてのいのちを守るための月間」の取り組み：回勅の文言とカリタスの活動写真を組み合わせた資料を作成し、月間中Facebookに日々掲載の予定。

審 議

1. 本年度（下期）活動計画
カリタスジャパンの規約改正、国内援助の方向性の具体化、中期戦略計画策定関連ワークショップ、国際カリタス管理基準（CIMS）のアセスメントについて確認した。
2. 国際カリタス Horizon2030 について
継続審議となった。
3. その他
社会司教委員会出前研修として、カリタスジャパンのキャンペーンについて、名古屋教区と大分教区より要請があった。

次回会議：2022年10月28日（金）13:30-15:30

■第4回援助部会会議

日 時 2022年8月19日(金)13:30-16:00

場 所 ウェブ会議

出席者 11名

報 告

1. ウクライナ支援報告
7月末日までの募金額は162,791,367円、ウクライナとその周辺国への支援額は82,105,556円。
2. MONA（中東北アフリカ）地域会議参加報告
3. 今後の視察、会議出張予定について
8月に予定されていたキルギスタンへの視察が新型コロナウイルス感染症蔓延のため延期となった。併せて、9月に予定されていたカリタスアジアの会議に日程変更があり、11月に延期された。
4. 国内募金の有効活用についての現状報告

審 議

1. 援助審査
海外からの援助申請2件審議し、1件を承認し1件を継続審議とした。
国内からの援助申請について2件審議し、2件とも承認した。
2. 国内援助申請のプロセスにおける援助・啓発両部会委員の関わりについて審議し、手順を確認した。
3. ウクライナ人道支援国内案件の取り扱いについて、承認のプロセスと方法を確認した。
4. 支援団体から質問があった援助金残金の取り扱いについて審議し、対応を決定した。

正義と平和協議会

■定例委員会

日 時 2022年7月13日(水)14:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 14人

報 告

1. ウクライナを覚えて平和を祈るキリスト者祈祷会 第4回 6月17日
2. 談話「沖縄慰霊の日にあたって」(6月23日)
3. 発行物報告
 - 1) 正義と平和小論集 (JPブックレット Vol.10) 『わたしはだれの死をも喜ばない。お前たちは立ち帰って、生きよ』(エゼキエル18・32) —カトリック教会と死刑廃止—
8月1日発行。3000部印刷
 - 2) リーフレット『「復興」と20ミリシーベルトともに暮らす家(=地球)を大切にするために』発行に向けて最終作業中。8月中発行。10000部印刷
4. 各教区の正義と平和協議会、社会活動部門の実態アンケート結果について
5. 第8回日韓脱核巡礼と懇談会の進捗状況
6. 部会報告
7. 外部会議報告

審 議

1. 全国会議について
開催日、開催方法、テーマ、基調講演講師について次回継続審議になる
2. 新規企画について
オンラインでの分かち合いの集いを企画する。月一回、テーマを決め、委員が導入、ファシリテートをする。8月から実施。
3. 委員からの報告ほか、7月8日安倍晋三元首相銃撃、7月10日参議院選挙選挙結果について自由討議。

■事務局会議

日 時 2022年7月22日(金)15:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 7人

報 告

1. 発行物2点(正義と平和小論集、リーフレット)贈呈、送付について
2. 第8回日韓脱核巡礼と懇談会進捗状況
3. ワンポイントメッセージ新シリーズ「兄弟の皆さん」を生きる
第1回『『兄弟の皆さん』のよびかけにどのように応えるのか』講師 中井 淳師(イエズス会)7月13日

審 議

1. 安倍元首相「国葬」について
7月22日に閣議決定された安倍元首相の「国葬」に関して声明文を出す。内容について改憲対策部会にも図り、検討する。
2. 正義と平和井戸端協議会について。定例委員会で審議したオンラインでの分かち合い企画の名称を「正義と平和井戸端協議会」として、毎月第三金曜日に行う。初回は8月19日実施。
3. 教区への正義と平和、社会活動についてのアンケート結果をうけ、教区内に「正義と平和」の活動をどのように広げていくか、自由討議を行った。今回のアンケート調査の回答に関して、オンラインで担当者、回答者と懇談する。

■第8回日韓脱核平和巡礼と懇談会

日 時 2022年8月28日(金)-9月1日(土)

参加者 約38人(日本、韓国)

共 催 韓国カトリック司教協議会生態環境委員会
日本カトリック正義と平和協議会

テーマ 「核発電は気候危機の解決策ではない！」

- 韓国のエネルギー政策転換の問題点と原発、特に核廃棄物処理、核燃料再処理に関する懸案

日 程

8月29日(土)

コリ原発訪問 コリ2号機寿命延長について、市民運動と交流
ウオルソン原発訪問 原発立地近隣の地域住民の移住問題

8月30日(日)

テジョン原子力研究院前 記者会見、韓国市民運動との連帯アピールと平和ウォーク
懇談会(坪洞大聖堂)

藤田春美さん(札幌教区正義と平和協議会)「北海道の核の問題について」(核廃棄物処分場建設問題)
イ・キョンジャさん(核再処理実験阻止 30K 連帯代表)「テジョン脱原発運動の課題」

8月31日(月)

韓日脱核平和カンファレンス(ソウル明洞カトリック会館)

ソク・クァンフンさん(エネルギー転換フォーラム)「新政府の核発電優先エネルギー政策問題」

高野聡さん(原子力資料情報室)

「日本の高レベル核廃棄物管理政策の問題点-でたらめな公論化政策を中心に」

平和ウォーク、記者会見、日韓共同声明発表

ウクライナ戦争によるエネルギー供給危機を理由に、日本の岸田政権は原発7基の再稼働、小型原子炉などの新型原子力発電の開発の意志を、突然明らかにした。一方、韓国も今年5月、ユン・ソンニョル大統領が就任すると、これまでの原発からの撤退政策を一変させ、安全よりも「成長と気候危機対応のための原発への復帰」を打ち出した。今年第8回目となった日韓脱核平和巡礼と懇談会は、こうした日韓の原子力政策の問題点について、特に、核廃棄物処理問題に焦点をあて、現地訪問と日韓それぞれの問題についての報告を行い、課題の抽出と今後の協働の方向性を話し合った。

日本キリスト教連合会

■2022年度第1回常任委員会

日時 2022年6月17日(金)10:00-12:00

会場 ウェブ会議

出席者 8名

報告

1. 日本宗教連盟(日宗連)
 - 1) 比叡山宗教サミット35の件 2022年8月4日開催
 - 2) 5月18日『公益財団法人日本宗教連盟第6回宗教法人の公益性に関するセミナー「防災・減災、災害時の地域協力 社寺教会施設の活用を考える」』が開催された。
2. 東京都宗教連盟(都宗連)
 - 1) 東京都宗教連盟主催「宗教法人実務研究協議会」企画について
例年秋に開催している。テーマを「固定資産税」としたい。
近年宗教施設が地域の防災のために「備蓄」している。しかし、市町村の資産課が、「信者向けではない」として固定資産を徴収する例がある。地域への貢献(社会貢献)は、正当な宗教行為であることを市町村で認識してもらうための研修会を企画している。案内が出来次第、配信する。
 - 2) 宗教法人の公益性に関するセミナー「宗教施設の防災利用について」(日本宗教連盟主催)を後援
東京都宗教連盟は、東京都と「防災対策連絡会」を協定している。
5月18日に開催された、「日本宗教連盟第6回宗教法人の公益性に関するセミナー 防災・減災、災害時の地域協力 社寺教会施設の活用を考える」を後援し、石橋秀雄師(東京都宗教連盟理事、日本基督教団総会議長)が閉会挨拶を担当した。
 - 3) 「宗教法人実務研修会」(櫻井塾)を6月20日(月)14:00-16:00、カトリック関口会館(目白)

でオンライン併用で開催する。案内（オンライン招待）を改めてメーリングリストに送る。

3. 事務局 東京基督教大学国際宣教センター発行「日本宣教ニュース」が届いた。後日、常任委員に配布する。

協 議

1. 2022年度「キリスト教宗教法人のための法人事務・会計実務研修会」について
詳細は3ページに掲載。ご案内を作成する。(矢木委員担当)
案内は7月31日までに発送する。
2. 会報について
巻頭言 土屋潔委員長
内容—大柴師の講演内容、総会報告、実務研修会の案内
原稿データを事務局・本田に送る。原稿締切7月10日、7月31日発行予定
3. 高見三明大司教の顧問辞任について 総会で承認していることを確認した。
4. その他
日本バプテスト連盟高松常磐町キリスト教会より、教会用会計ソフトの紹介依頼があり、中村委員が対応する。

次回日程【2022年度第2回常任委員会】2022年9月22日（木）10：00—12：00 於：ZOOMにて開催

日本キリスト教連合会 主催
第46回 キリスト教宗教法人のための 法人事務・会計実務研修会

日本キリスト教連合会は、昨年に引き続き2022年度も、「キリスト教宗教法人のための法人事務・会計実務研修会」をZOOMで開催いたします。全国に広く呼びかけ、コロナ禍においても引き続き、宗教法人事務・会計が適切に行われることでキリスト教系の宗教法人をサポートすることを目的としています。

記

日 時 2022年10月19日（水）10：00-15：10
2022年10月20日（木）10：00-15：10
会 場 ZOOMでの開催とする

会計実務コース 2022年10月19日（水）講師 櫻井圀郎顧問

9：30 — 10：00 入室
10：00 — 10：15 日キ連委員長挨拶・開会の祈り（土屋委員長）
10：20 — 12：00 講演1 紹介・司会 矢木委員
13：00 — 14：20 講演2
14：30 — 15：00 質疑応答 司会 矢木委員
15：00 — 15：10 閉会の祈り 滝田委員

法人事務コース 2022年10月20日（木）講師 長岡淳三税理士・正税理士

9：30 — 10：00 入室
10：00 — 10：15 開会の祈り 川口委員
10：20 — 12：00 講演1 紹介・司会 矢木委員

- 13:00 — 14:20 講演 2
14:30 — 15:00 質疑応答 司会 矢木委員
15:00 — 15:10 閉会の祈り 本田委員

参加申込 日本キリスト教連合会事務局にFAXかメールにて、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属教団を記載して申し込んでください。参加費の振り込みを確認後、ZOOMの案内をいたします。

申し込みならびに振込締切 9月30日(金)

申込先 日本キリスト教連合会事務局 03-3918-5644 (FAX) 又は担当: 笠原 幸 (y.kasahara@ag-j.or.jp)
〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20 03-3918-5007(電話)

参加費 1講座につき1,000円(事前資料代を含む)

振込先 郵便振替 00180-1-52086 日本キリスト教連合会

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

■事務局会議

日時 2022年9月1日(木)13:30-15:30

場所 ウェブ会議

出席者 5名

報告

1. 司教総会報告
2. 事務局報告

審議

1. 未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン運用部門と子どもと女性の権利擁護のためのデスクの業務内容について
 - 1) 業務分掌の確認
ガイドライン運用部門への業務を円滑に移行できるよう今後検討していく。
 - 2) 情報管理の移行について
移行案を中央協議会部長会にてまとめ、ガイドライン運用部門責任者(司教協議会会長)、同担当司教の了解を得て、実施する。
2. 今後の進め方と課題の確認
 - 1) デスクへの相談および問合せについて
現在デスクのウェブサイトは「メンテナンス中」ということで閉じており、サイト内の「各教区の相談窓口」ページが閲覧できなくなっているため、デスクに直接問い合わせが入ってきている。

移行期間の措置として、中央協議会に相談電話が入った場合については次の通りとする：
各教区の相談窓口についてなどの問い合わせの場合は、教区の窓口を紹介する。ケースの相談(当該教区に相談できないなど)の場合は、今まで同様、デスク事務局が受け取る。

- 2) ウェブサイトの内容移行について
デスクウェブサイトに掲載していた「各教区の相談窓口」リストなどの再掲載は、ガイドライン運用部門のウェブサイトへの移行を検討する。

- 3) 今後の活動（啓発、予防教育、養成）について
教区の相談窓口、対応委員会に関わっている担当者を支えていくような形で、啓発や養成を行う。
具体的なことについては継続審議とし、2023年3月までに活動内容を明確にする。

次回会議日程：2022年10月13日（木）15:00—17:00

HIV/AIDS デスク

■事務局会議

日 時 2022年7月26日（火）13:30-14:30

場 所 ウェブ会議

出席者 5名

承認事項

2022年度第3回事務局会議（6月7日）議事録案。

次回の定例会議の審議・報告内容および資料等の確認を行なった。

次回会議日程 2022年9月12日（月）13:30—14:30

■定例会議

日 時 2022年8月30日（火）13:30-15:30

場 所 ウェブ会議

出席者 10名

承認事項

2022年度第3回定例会議（6月21日）議事録案

報 告

1. 2022年度第1回臨時司教総会（7月19日—22日）
2. 第28回世界AIDS・DAY礼拝
準備会進捗報告。次回、準備会は9月7日（水）ZOOMにて開催予定。
3. 認定NPO法人 ふれいす東京への献金
献金および認定NPOサポーター登録を行った。
4. 2022年行事予定

審 議

1. 第30回京都キャンドルパレード（5月14日）
献金を行うこととなった。
2. 第8回勉強会（10月1日）
現在のコロナ蔓延状況を鑑み、対面での開催はやめ、ZOOM配信のみの開催に変更となった。中央協議会からZOOM発信にて勉強会を行う。

3. 啓発品の追加作成について

次回会議日程 2022年9月20日(火) 13:30-15:30

中央協議会事務局

■総務

9月会議予定

1日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
1日(木)	子どもと女性の権利擁護の為のデスク事務局会議	〃
1日(木)	在留特別許可申請打合せ	〃
2日(金)	司祭生涯養成部門 会議	〃
5日(月)	典礼委員会 定例会議	御聖体の宣教クララ修道会
5-7日(月-水)	全国典礼担当者会議	〃
12日(月)	HIV/AIDS デスク事務局会議	日本カトリック会館
14日(水)	正義と平和協議会事務局会議	〃
19日(月・祝)	部落差別人権委員会	〃
20日(火)	HIV/AIDS デスク定例会議	〃
21日(水)	カリタスジャパン啓発部会会議	〃
28日(水)	三菱UFJ銀行 業務打合せ	〃
30日(金)	WYD リスボン 2023 事務局会議	〃

10月会議予定

1日(土)	HIV/AIDS デスク勉強会	日本カトリック会館
4-5日(火-水)	難民移住移動者委員会 全国担当者・ネットワーク合同会議	〃
4-5日(火-水)	カリタスジャパン定例全国教区担当者会議	〃
5日(水)	リニューアルプロジェクト会議	〃
5日(水)	司祭生涯養成部門会議	〃
6日(木)	常任司教委員会	〃
7日(金)	災害時の緊急対応支援チーム(ERST)	〃
11日(火)	2023年度予算作成説明会	〃
12日(水)	同宗連 企画委員会	〃
22日(土)	HIV/AIDS デスク 勉強会	〃
26-27日(水-木)	2022年第3四半期 会計士監査	〃
31日(月)	WYD 教区担当者会議のための打合せ	〃
31日(月)	全国教区広報担当者会議	〃

〈会報 2022 年 9・10 月号 公文書〉

2022 年「被造物を大切に作る世界祈願日」教皇メッセージ

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/08/22/25233/>)



**わたしたちは安倍元首相の「国葬」に反対します。
日本カトリック正義と平和協議会(日本語)**

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/08/01/25118/>)



**わたしたちは安倍元首相の「国葬」に反対します。
日本カトリック正義と平和協議会(英語)**

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/09/22/25540/>)



第 16 回世界代表司教会議(シノス)の日本の教会の回答書(日本語)

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/08/22/25219/>)



第 16 回世界代表司教会議(シノス)の日本の教会の回答書(英語)

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/08/22/25226/>)



2022 年「世界難民移住移動者の日」教皇メッセージ

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/08/01/25031/>)



第 108 回 世界難民移住移動者の日(2022 年度) 委員会メッセージ

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/08/08/25173/>)



カトリック中央協議会 「会報」 2022年9・10月号 (通巻602号)

発行日 2022年10月10日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457